



文教大学



Bunkyo

東京あだちキャンパス

Concept Book vol.2





▶▶ THE NEW CAMPUS IS UNDER CONSTRUCTION.



▶▶ 2021 APRIL

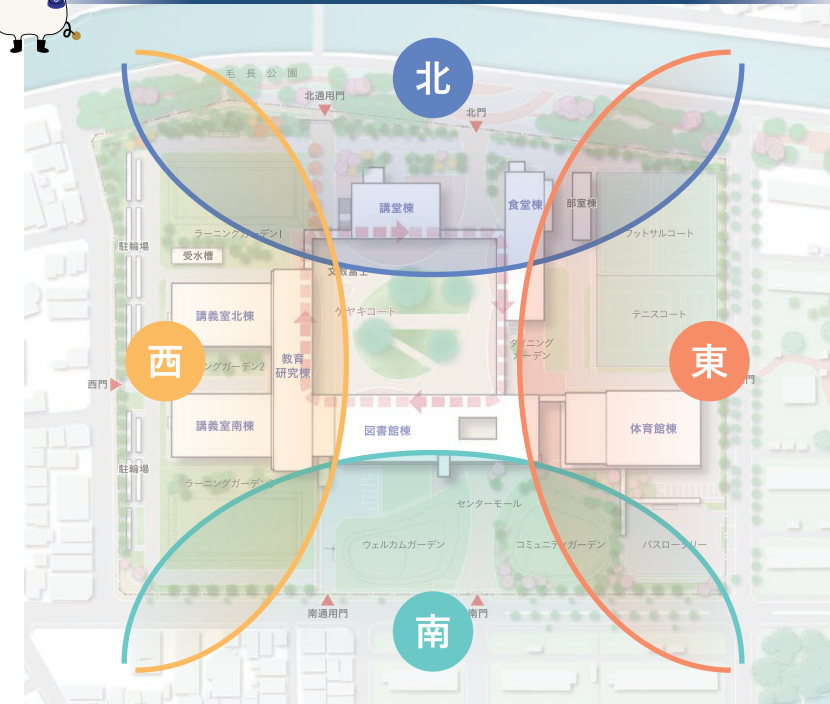
可能性は無限大。
自分らしい学びをクリエイトできる
環境がここにある。

学生たちの具体的な活動に着目

キャンパス紹介

学生が能動的に学習に取り組み、
様々な価値観に触れられる
充実した「場」を創ります。

四方が顔となるキャンパス



川沿いの顔(北面)

講堂棟をコア施設として、川沿いの散策景観を補完します。人道橋からの学生の動線を受け止める緑豊かな景観を創ります。
(人道橋は2022年完成予定)

地域の顔(東面)

地域に開かれた入口とします。地域公園と連続し、アクセスしやすい環境です。

近隣の顔(西面)

教室機能を配置し、施設ボリュームを抑えた計画とします。沿道緑化を行い、閑静な住宅街に面した穏やかな環境を創ります。

迎える顔(南面)

主要通学動線として、象徴的なキャンパスの顔を創ります。

“わ”をつくり 出す5つの場



「交流」の場

授業前後に学生同士が語れる交流の場。全ての建物が一つのコンコースで繋がります。学部・学科の垣根を越え、様々な学生たちが集う、最もアクティブな対“話”の場を創ります。



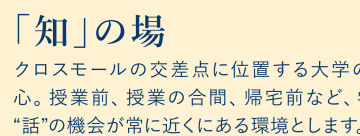
コモンズエリア

ひと続きの天井と連続する柱と梁、長大なガラス張りによる共用空間。様々なスペースが顔を出し、交流や学習、発見を創り出します。



「発信」の場

講演会や学外発表など、大学の情報を発信する拠点。北門に向けて構え、情報交流を通じて社会・地域と融“和”します。



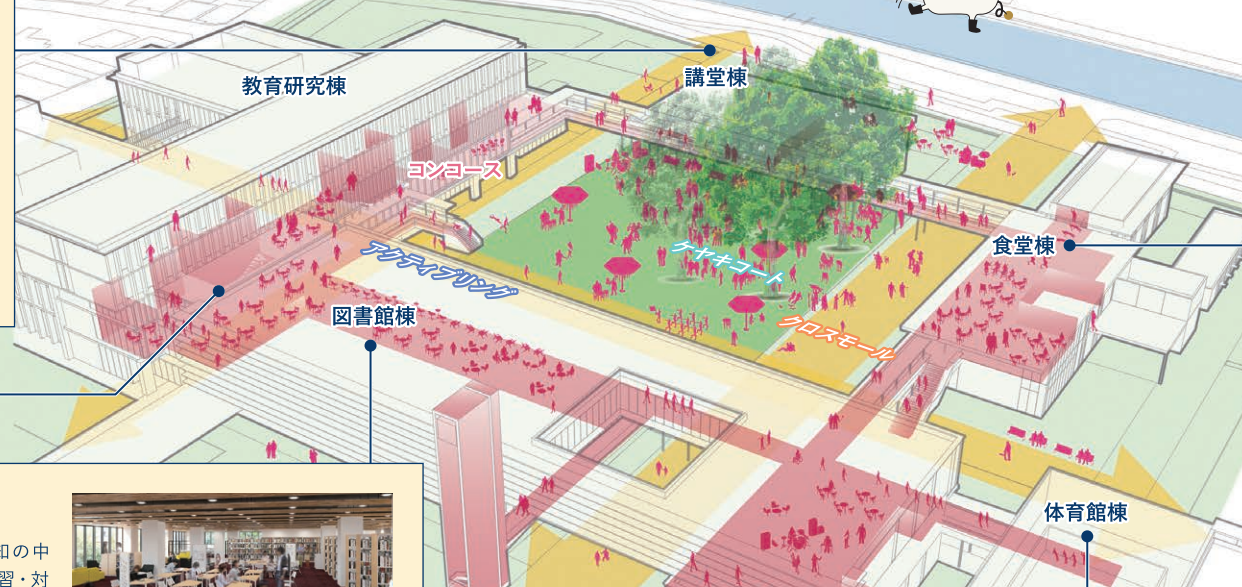
「知」の場

クロスモールの交差点に位置する大学の知の中心。授業前、授業の合間、帰宅前など、学習・対“話”の機会が常に近くにある環境とします。



図書館

ケヤキコートの賑わいを感じられる図書館。2階は学生同士が情報をシェアできるフロア、3階は静寂・集中のフロアとして位置づけ、自由に学習できます。



「体育」の場

地域の方々の利用も想定した体育の場。大学、地域を問わない、スポーツを通じた“和”やかな関係を創ります。



「食」の場

一番大きなテラスを持つ食の場。大学という垣根を越え、地域の健康も担う拠点です。ケヤキコートの傍ら、地域と大学の交流を生む、憩いの“環”境を創ります。

学食

2つのフロアからなる学食。1階は、屋外やテラスとの連続を感じられる開放的な食堂。2階は、多目的な利用を想定した、大学のリビングのような空間です。



カフェ

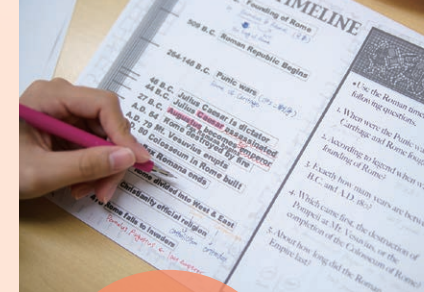
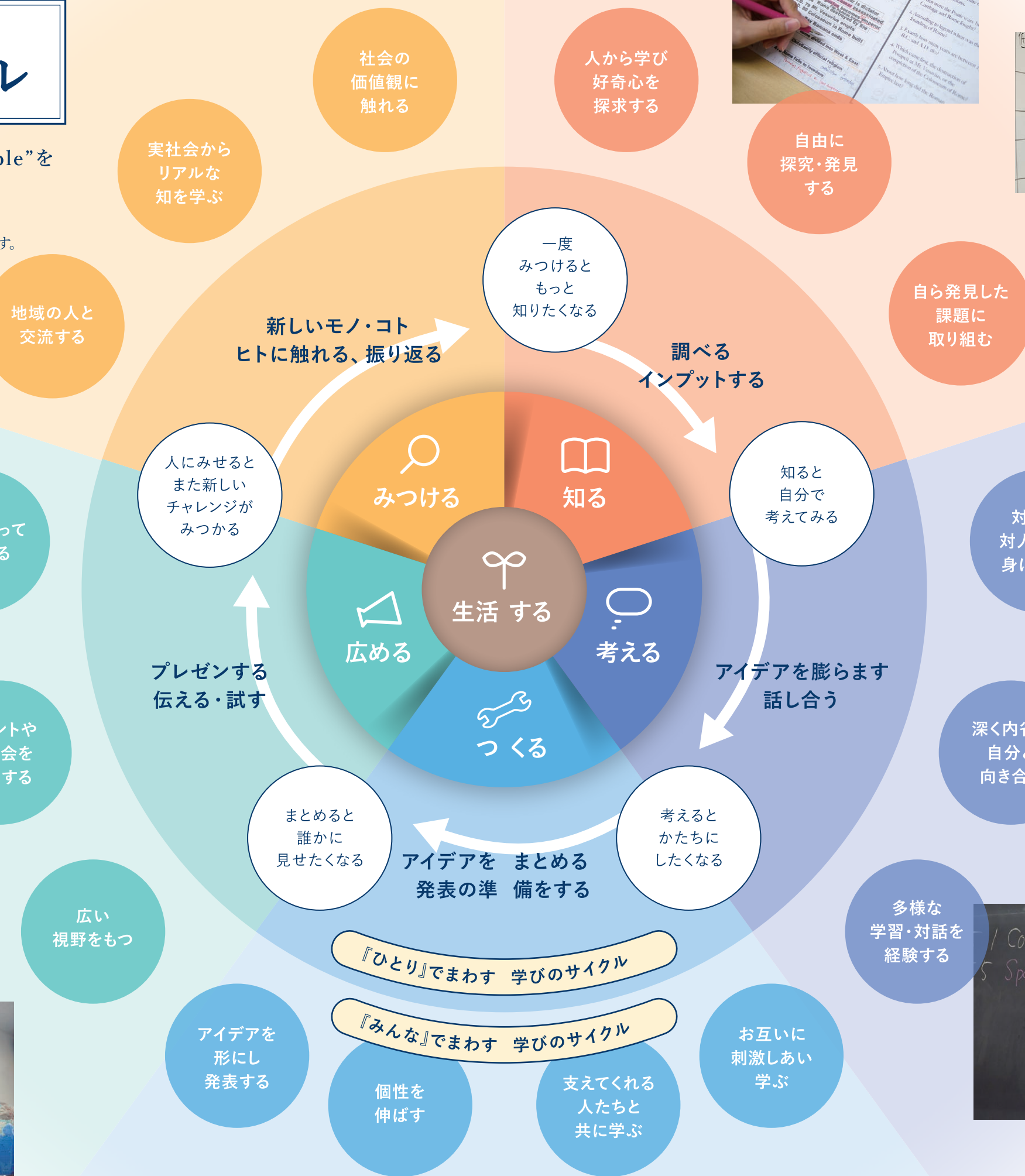
毛長川沿いの自然にひらけた憩いのカフェラウンジ。広々とした屋外テラスがあり、地域にもひらかれ、インフォーマルなサロンとしても使用できます。

※イメージ図になり、変更になる可能性があります。

5つのアクティビティが連続してまわる 学びのサイクル

東京あだちキャンパスでは“Comfortable”をテーマに学び、生活していきます。

“Comfortable Learning”“Comfortable Life”として、5つのアクティビティが連続し「学びのサイクル」となります。コモンズエリア（交流の拠点）と図書館エリア（知の拠点）を中心として、キャンパス全体で5つの（学びの）サイクルがまわるよう配慮されています。



キャンパス全体での快適な学び・快適な生活を実現

学びのアクティビティ

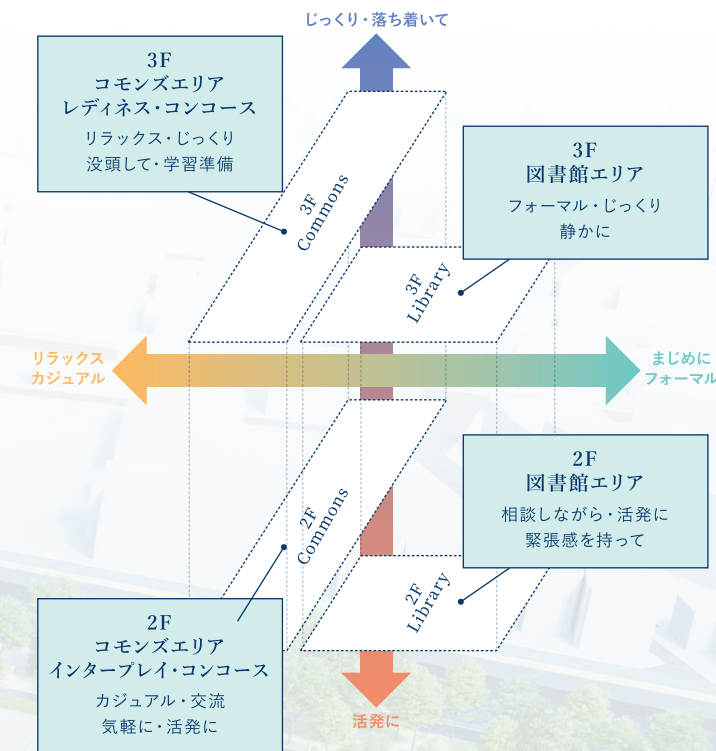
コモンズエリア（交流の拠点）と
図書館エリア（知の拠点）は、
全ての学びのアクティビティのための
場を備えた中心拠点となります。



4つのエリアのトーン設定

学びのアクティビティ×トーンで空間を選ぶ

4つのエリアにそれぞれトーンを設定することで、
学生の利用ニーズにあわせたComfortable な学びの場を実現します。



3F レディネス・コンコース
『学習準備』メインの自主学習エリア

コモンズエリア

2F インタープレイ・コンコース
『交流』メインの自主学習エリア

1F ケヤキ・ラウンジ

ケヤキコートに面する
『シンボル』となるようなラウンジ

1F インフォメーション・ホール

学生に向けた『情報発信』に重点をおいたエリア

1F 大学事務局

『オープンでクリーン』なイメージと
機能性をあわせもつ、ワンフロアで
ワンストップの大学事務局

1F エントランス・ホール

『フォーマル』な雰囲気の
キャンパスのエントランス

1F カフェ

『学外からの利用』も想定した
グレード感のあるカフェエリア

3F
『静かに』じっくり学べる
エリア

図書館エリア

2F
資料や相談などに触れ
ながら学ぶ『知』の拠点

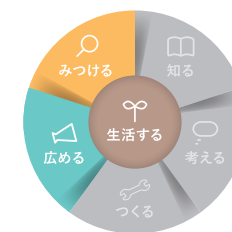
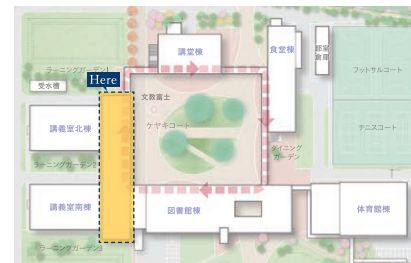
2F
イベントにも対応できる
『フレキシブル性』を重視した食の拠点

食堂

1F
ひとりでも、みんなでも利用できる
『効率性と機能性』を重視した食の拠点

インタープレイ・コンコース

2Fのコモンズエリアは、交流がメインの自主学習スペースです。
仲間と活発に交流することで、新しいモノ・コト・ヒトとふれあうことができます。



アイデア・クロッシング

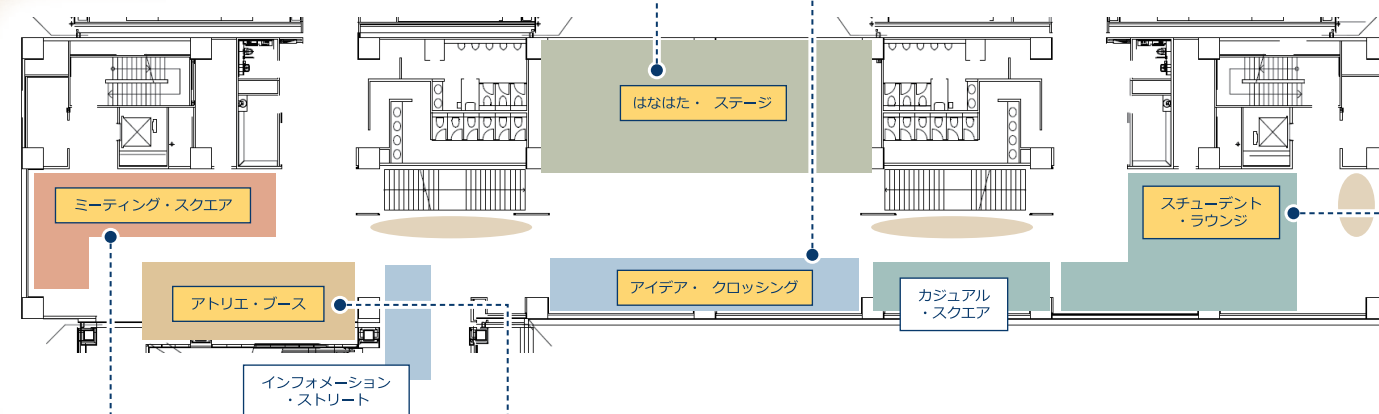
ちょっと話したい時にはリラックスできる場所で。
くつろげる家具を配置。少人数での利用が想定されるリラックススペースです。



はなはた・ステージ

みんなに考えを発信したい。
コモンズを代表する場所。

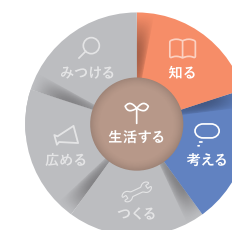
2階のメインとなるエリア。インパクトのある段状の
ソファベンチは動かせる設計になっていて、
大人数のプレゼンテーションやポスターセッションはもちろん、
グループのくつろぎのスペースとしても活用できます。



スチューデント・ラウンジ

授業の後にともだちと待ち合わせ。

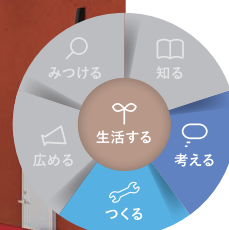
気軽に立ち寄れるカフェのような
開放的な雰囲気を演出する家具を配置。
入り口付近にはシンボルとなるような
ソファを設けます。



アトリエ・ブース

手を動かしながらだと
創造力が湧いてくる。

大きな作業スペースとポップな色合いのチェアを配置。
モニターも付いているので、仲間と情報共有しながら
効率よく作業が進められます。



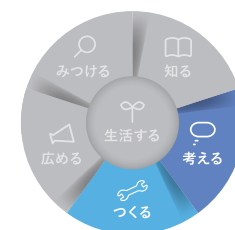
ミーティング・スクエア

「アイデアを出し合おう」
そう言って仲間と向かう場所。

カジュアルに使いやすい家具を設置。
グループでラフにディスカッションしながら
アイデアを出し合います。

レディネス・コンコース①

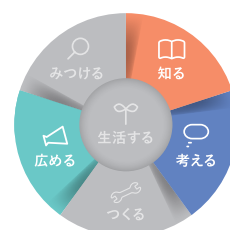
3Fのコモンズエリアは、学習準備をメインとした自主学習のスペースです。
個人でもグループでも集中して取り組めるような環境が整っています。



ディスカッション・スペース

集中したい話し合いには
お籠り感のある、このスペース。

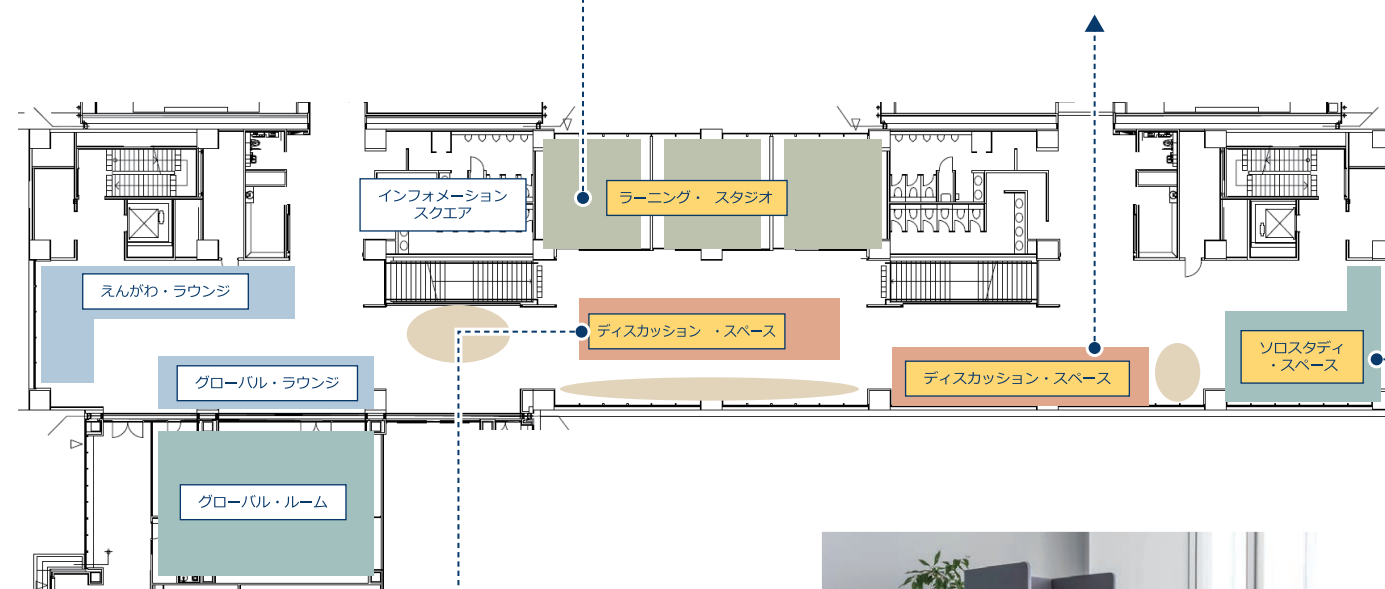
集中してチームワークに取り組めるよう、
パネルで仕切られたセミオープンソファブースを配置。
ブースごとに家具のカラーに変化があり、
好きなブースを選んでつかえます。



ラーニング・スタジオ

さまざまな用途で利用できるフレキシブルな空間。

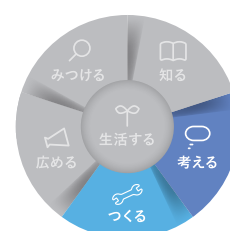
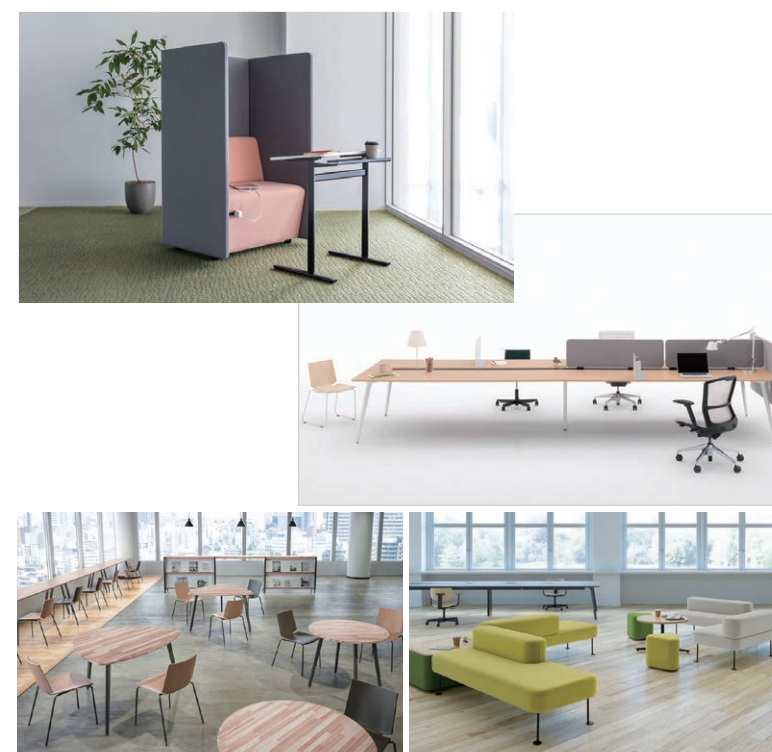
友達と一緒に勉強したり、プレゼンテーションの練習をしたりと、さまざまなシーンで大活躍の場所。
部屋ごとにあえて異なる形状のテーブルを配置しています。



ソロスタディ・スペース

試験前は心地いい空間で
勉強に集中したい。

窓向きの心地よい席や、ビッグテーブルを配置。
開放的でリラックスしながらも個人で集中できる
スペースです。



ディスカッション・スペース

フロアのあるセミオープン
スペース。開放的で発言も多くなる。

人通りが多い場所でも集中して話し合えるスペース。
窓際にはペアワークや休憩につかえるテーブルを配置しています。



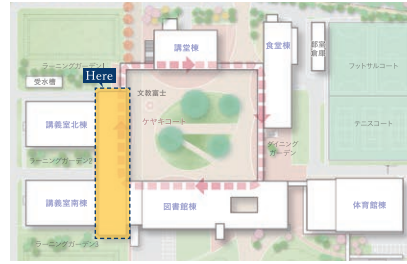
3F
2F
1F

READINESS CONCOURSE

〈教育研究棟〉

レディネス・コンコース②

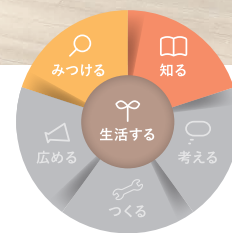
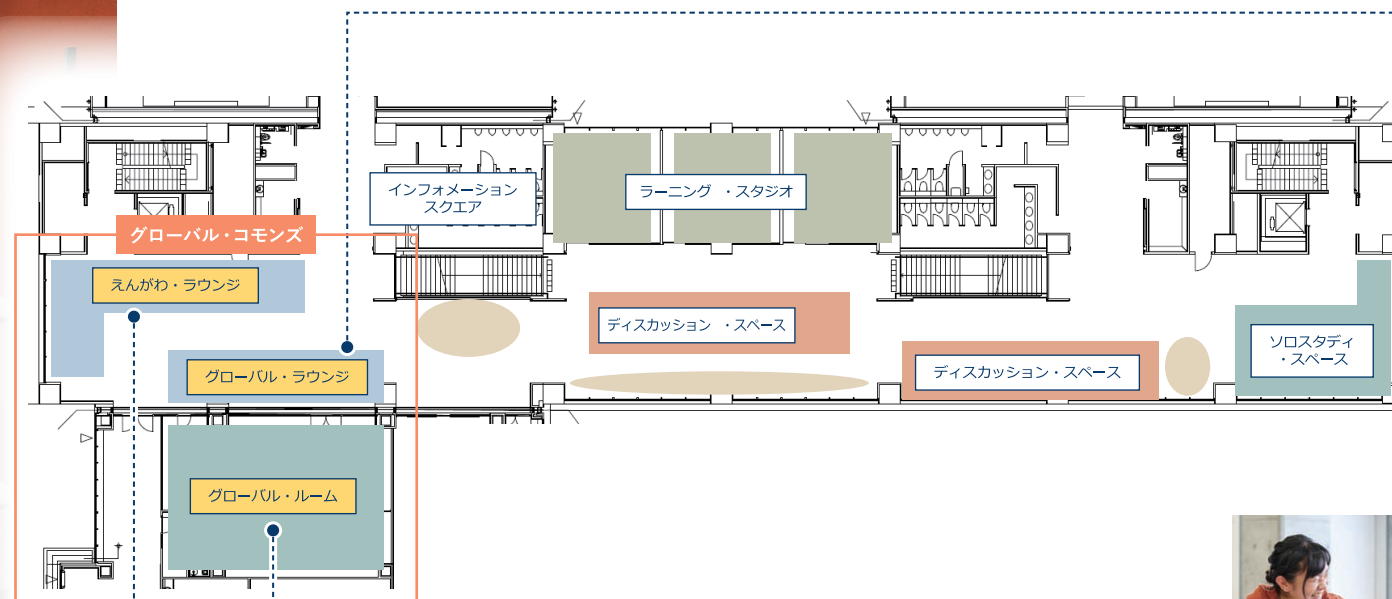
以下で紹介する3つのエリアを合わせた名称「グローバル・コモンズ」は、3Fのメインとなるエリアです。用途に合わせて使用できる空間で、国際的なコミュニケーションを図ることができます。



グローバル・ラウンジ

英語の勉強をしようと思ったら一番に思い浮かぶ。

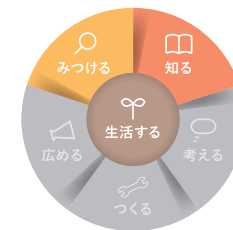
くつろぎの家具や、さまざまな資料が置けるシェルフを配置。国際交流や語学に関する資料をゆっくり閲覧することができます。



えんがわ・ラウンジ

リラックスしてくつろげる和テイストの空間で国際交流。

畳の小上がリエリアや、和の素材を使用した家具などを配置。和テイストの空間で、くつろぎながら交流できます。



グローバル・ルーム

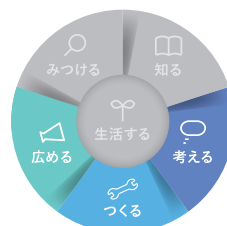
国際的な交流ができるお気に入りの空間。

カジュアルな家具や、グループで使える家具、特徴のある家具を配置。国際交流や英語学習をテーマに、自然とコミュニケーションが生まれます。



図書館エリア①

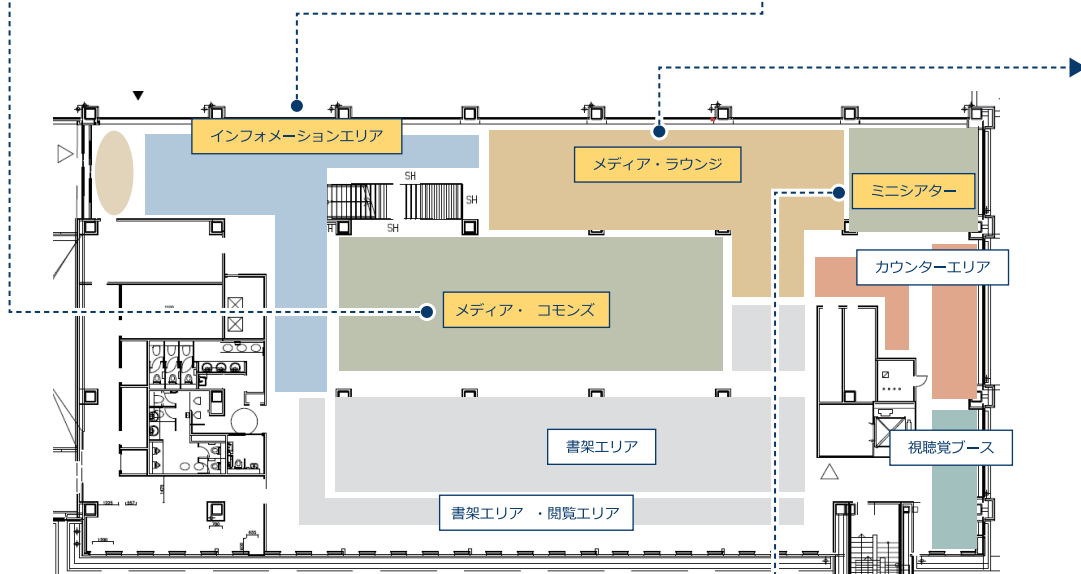
2Fの図書館エリアは、アクティブに学ぶことができるスペースです。
資料を探したり、仲間と活発に意見交換したりできます。



メディア・コモンズ

探す・聞く・話ができる
マルチスペース。

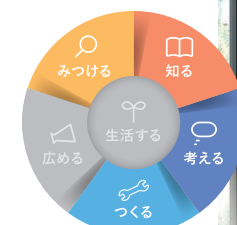
台形型の特徴のあるテーブルを配置。
図書館を象徴づけるエリアで、グループワークから
発表まで、さまざまなレイアウトを楽しめます。



インフォメーションエリア

新しい情報に触れられる図書館の入口。

入口付近のエリアには、カウンター、検索端末、展示棚、デジタルサイネージなど、
新しい情報に触れる機能を集約しています。



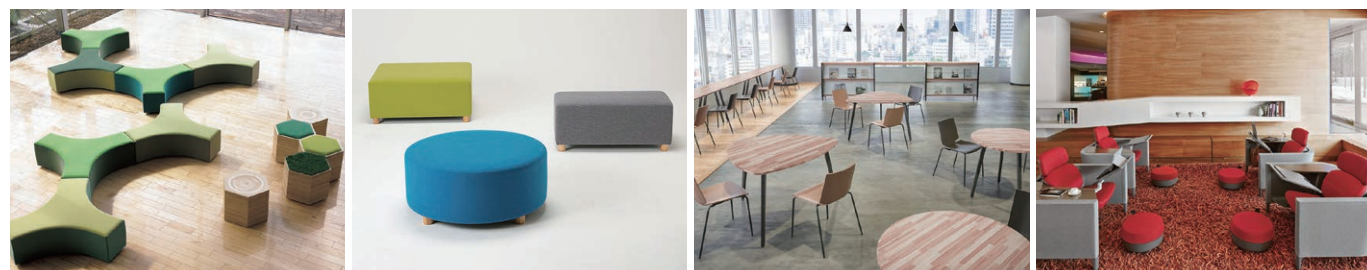
メディア・ラウンジ

新聞や雑誌を閲覧できる
ゆったりとしたラウンジ。

アクティブリングに近接するため、活動が見えるよう家具を配置。
新聞や雑誌を閲覧できるラウンジです。
木のシンプルなチェアとゆったりできるソファで、
フォーマルな雰囲気の中でくつろげます。



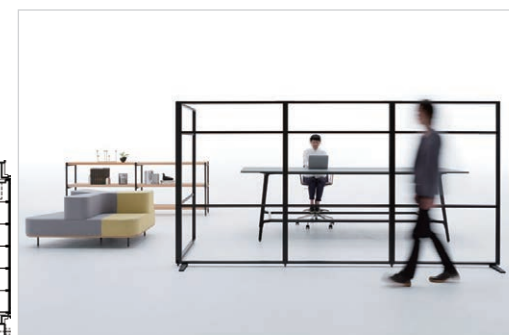
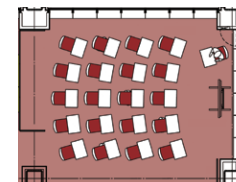
フロアの各所には、こだわりのソファやテーブルを設置。



ミニシアター

可動式のフレームで
場面にあった配置に。

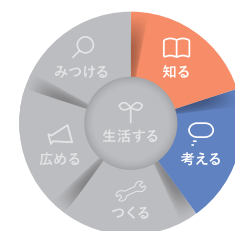
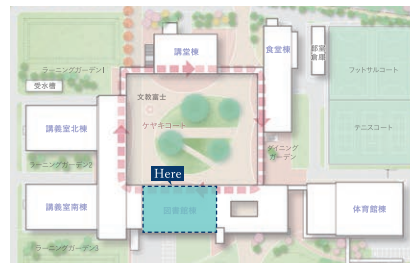
レイアウトも自由自在。
映像を流したり、グループワークをしたり、
さまざまなシーンで利用できます。



可動式フレーム

図書館エリア②

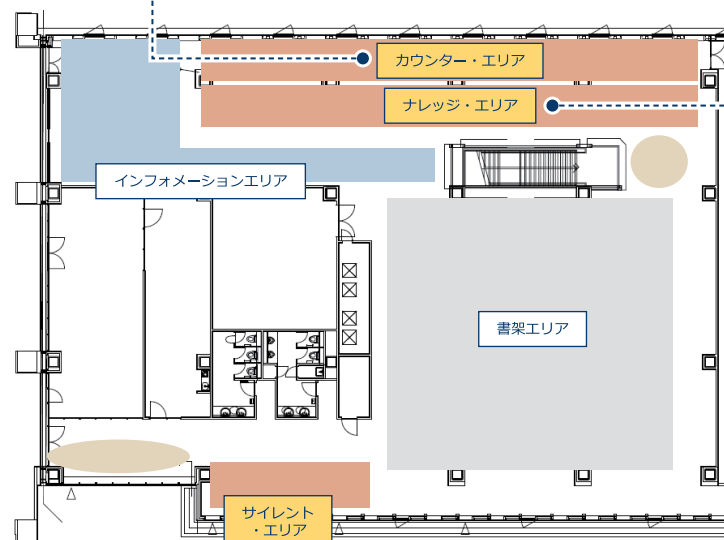
3Fの図書館エリアは、じっくり落ち着いて学ぶことができるスペースです。
2Fとともに活用することで、学びのサイクルがまわる図書館となっています。



カウンター・エリア

個人での調べ物や
資料探しがはかどる場所。

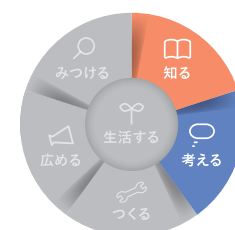
窓際に向かってカウンター席を配置。
一人ずつパネルで仕切られているので
周りを気にせず落ち着いて
作業や読書ができます。



ナレッジ・エリア

腰を落ち着けて
滞在するのに最適。

広めの4人テーブルを配置。
木目を基調とし洗練されたデザインの
テーブル・チェアで、ひとりで落ち着いて
長時間利用できます。



サイレント・エリア

特に集中したいときに
個人スペースを確保。

ローパーティションで仕切られた席を設置。
自分だけの空間で集中して課題に取り組みます。



その他の施設



食堂

学生はもちろん、
地域の人にも憩いの
場となります。

2つのフロアからなる学食。
1階は屋外テラスとの連続を
感じられる開放的な食堂で、
2階は多目的な利用も想定しています。

カフェ

落ち着きのあるくつろぎの空間。

毛長川沿いの自然にひらけた憩いのカフェラウンジ。
広々とした屋外テラスがあり、地域にもひらかれ、
インフォーマルなサロンとしても使用できます。



体育館

仲間と地域と
スポーツを通じた交流を。

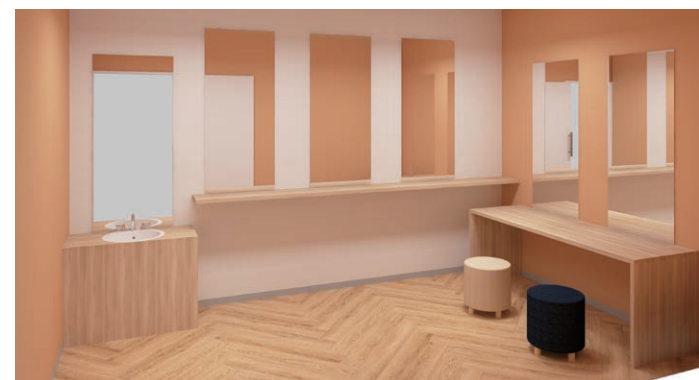
大学の活動としての利用はもちろん、
地域の方々も利用する体育館。
大学の仲間、地域の方たちとスポーツを通じた
和やかな関係が創れる場所です。



パウダールーム

今日も素敵な自分に。

パウダールームごとにカラーが変化。
キャンパス内のパウダールームとして
必要な機能を備えています。



2つの学部からなる、新キャンパスが2021年4月よりスタート!

2021年4月から東京あだちキャンパスに国際学部と経営学部が移転。

4学年が揃った、活気あふれるキャンパスライフが始まります。

※2021年度以前の入学者については在学中の移転となります。

国際学部

国際理解学科

国際観光学科

観光ビジネスや国際協力、地域貢献のあらゆる場面において、国際人としての能力、基礎知識を備えた人材育成を目指し、英語能力やコミュニケーション能力はもちろん、現場で本当に必要となる柔軟なセンスから、幅広い視野や見識まで学びます。

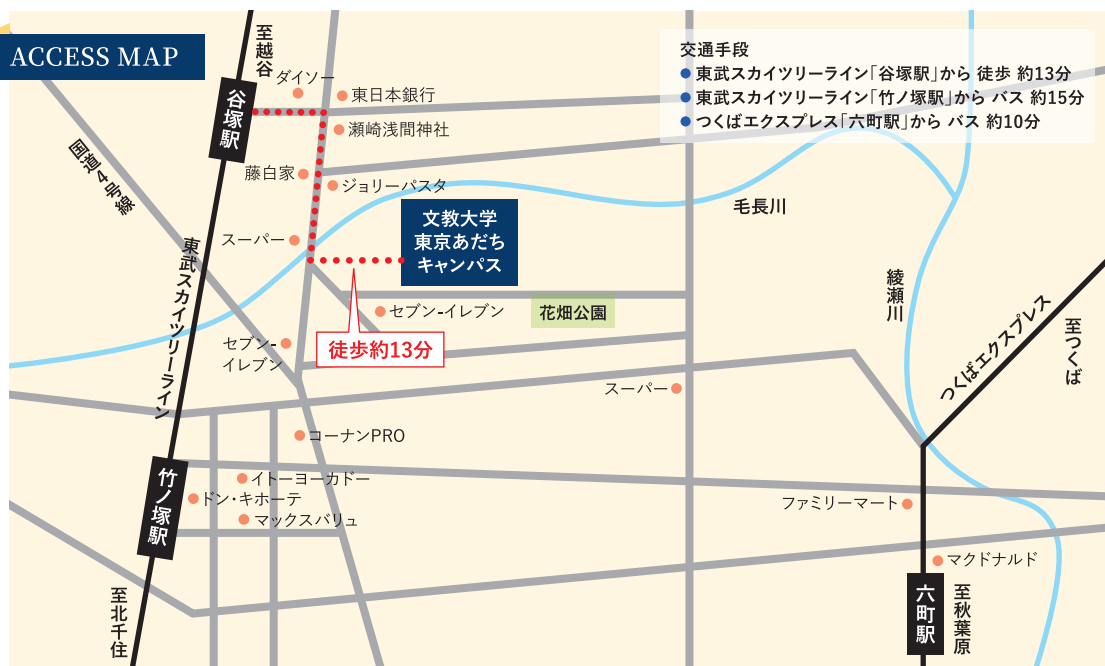
経営学部

経営学科

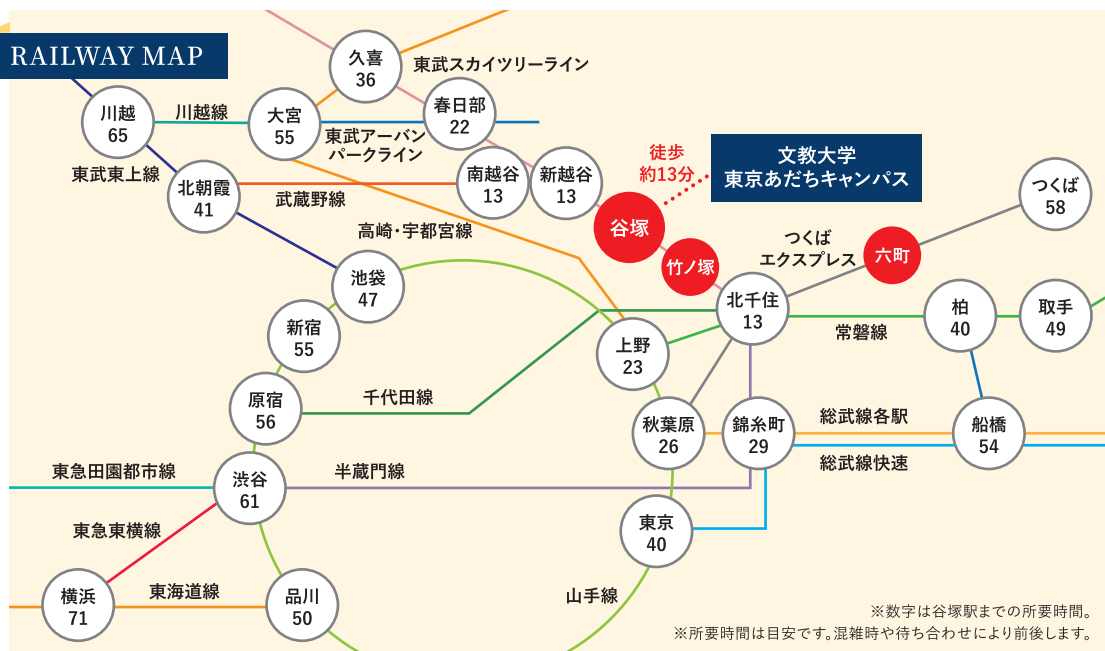
「人を活かす」という人間尊重の経営を実践する自立型の人材育成を目指し、進路に合わせて、企業経営、公共経営、会計の3つの領域を学びます。公務員受験や公認会計士・税理士などの資格の取得もサポートします。



ACCESS MAP



RAILWAY MAP



※数字は谷塚駅までの所要時間。
※所要時間は目安です。混雑時や待ち合わせにより前後します。



BUNKO
文教大学の公式マスコットキャラクターです。「はんぶんこ」したハートを持つ謎の生物です。

所在地：東京都足立区花畑5丁目6番1号

概要：国際学部／国際理解学科・国際観光学科
経営学部／経営学科

問い合わせ先：文教大学学園 経営企画課

〒142-0064 東京都品川区旗の台3丁目2番17号
Tel: 03-3783-5511 (代)

東京あだちキャンパス特設サイト ▶▶▶ <https://www.bunkyo.ac.jp/guide/tac/>

